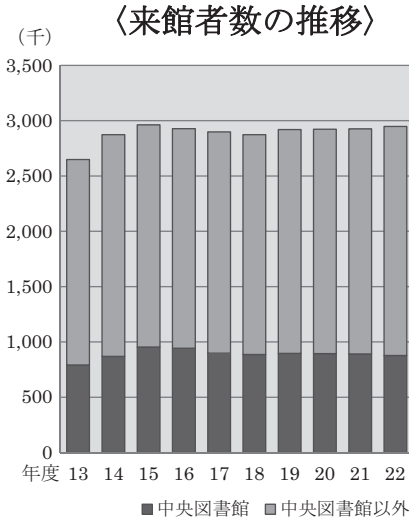


図書館だより

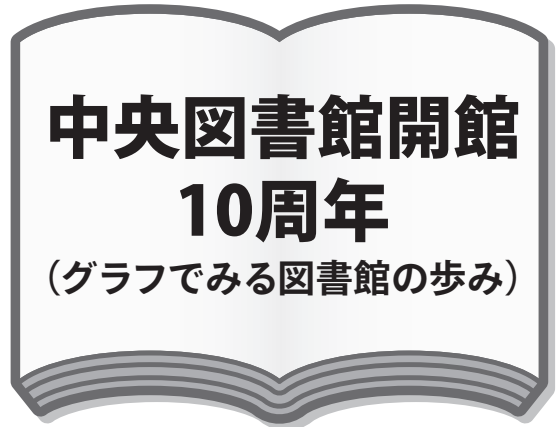
発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

- 千葉市中央図書館
千葉市中央区弁天3-7-7 ☎043-287-3980
- みやこ図書館 (233-8333) 白旗分館 (264-8566)
 - 花見川図書館 (250-2851) 花見川団地分館 (250-5111)
 - 稲毛図書館 (254-1845) 西都賀分館 (254-8681)
 - 若葉図書館 (237-9361) 泉分館 (228-2982)
 - 緑図書館 (293-5080) あすみが丘分館 (295-0200)
 - 美浜図書館 (277-3003) 土気図書室 (294-1666)
 - 移動図書館 (287-3983) 打瀬分館 (272-4646)

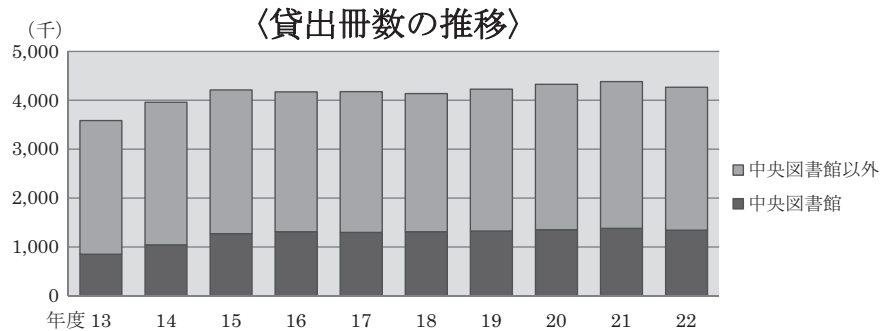
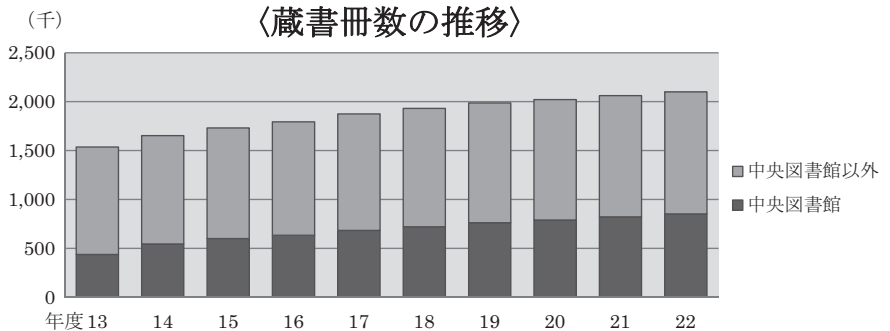
主な内容 **[2面]** 冬のおはなし会のご案内
[3面] 障害者サービスのご案内



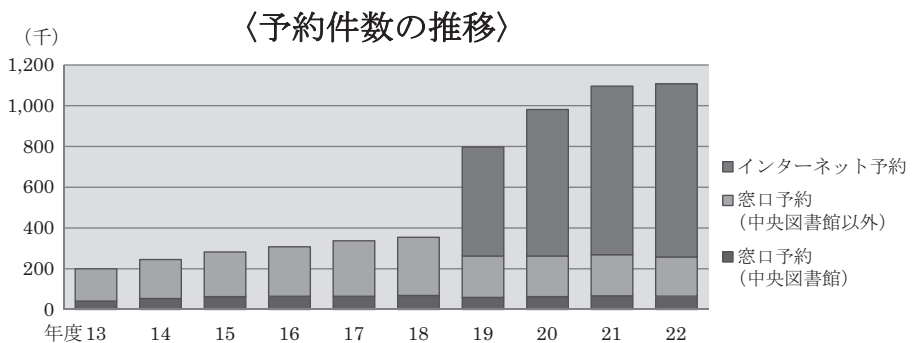
日頃から千葉市図書館をご利用いただきありがとうございます。
 千葉市中央図書館は平成13年に開館して以来、多くの方に利用され、開館10周年を迎えることができました。今号では、開館10周年を記念して「グラフ」で10年の歩みを振り返ります。



※来館者数、蔵書冊数、貸出冊数は平成13年度と比べ、ともに増加しています。図書館全体では、平成23年度の来館者数は約29.5万人、蔵書冊数は約210万冊、貸出冊数は約42.7万冊となっています。
 利用者の皆様にとりまして魅力ある蔵書のさらなる充実に取り組んでいます。



※予約件数は、平成19年度のインターネットサービスの開始から大幅に増加しています。平成23年度にはインターネット(パソコン・携帯電話)からの予約が予約件数全体の約8割を占めています。
 千葉市図書館は、今後も時代の変革やニーズの変化にあったサービスを追求し、より良いサービスを提供してまいります。





絵本やお話の世界をたのしもう!

図書館の「冬のおはなし会」



各図書館でパネルシアターや絵本の読み聞かせ、昔話などの素話すばなしを行います。
皆さんのお越しをお待ちしています。(当日先着順)



12/17(土)中央図書館

3・4歳児と保護者 11:00~11:30
5歳児~小学生と保護者 15:00~15:30
定員:各回30人

中央区

12/24(土)みやこ図書館

3~6歳児と保護者 10:00~10:30
小学生と保護者 11:00~11:30
定員:各回40人

12/21(水)みやこ図書館白旗分館

3歳児~小学生と保護者 15:30~16:00
定員:30人

12/16(金)花見川図書館

花見川区

1~3歳児と保護者 11:00~11:30
4歳児~小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回30人

12/21(水)花見川図書館花見川団地分館

3歳児~小学生と保護者 15:30~16:00
定員:30人



12/10(土)若葉図書館

3・4歳児と保護者 14:00~14:30
5歳児~小学校低学年と保護者 15:00~15:30
定員:各回30人

稲毛区

12/16(金)稲毛図書館

3~6歳児と保護者 15:15~15:45
小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回60人

12/21(水)若葉図書館西都賀分館

3・4歳児と保護者 15:00~15:30
5歳児~小学校低学年と保護者 15:45~16:15
定員:各回20人

若葉区

緑区

12/16(金)緑図書館

2・3歳児と保護者 11:00~11:30
4歳児以上と保護者 15:30~16:00
小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回36人

12/24(土)若葉図書館泉分館

3歳児以上と保護者 11:00~11:30
定員:30人

12/14(水)緑図書館あすみが丘分館

3歳児以上と保護者 15:45~16:15
定員:40人

美浜区

12/17(土)緑図書館土気図書室

3歳児以上と保護者 14:00~14:30
定員:30人
※会場:土気公民館集会室
(お問合わせ:火・水・土の午後又は緑図書館へ)

12/17(土)美浜図書館

3歳児以上と保護者 10:30~11:00
5歳児~小学生と保護者 11:30~12:00
定員:各回40人
※会場:高洲子育てリラックス館2階 ひろば2

12/22(木)美浜図書館打瀬分館

3歳児以上と保護者 15:30~16:00
5歳児~小学生と保護者 16:00~16:30
定員:各回20人

障害者サービスコーナーの 著作物の利用が拡大されました!

千葉市中央図書館には1日平均で約3,000人の方が来館されます。来館される方は、子どもからお年寄りまで非常に幅広く、その中には、目や耳などが不自由な方や、本を読むことが困難な方もいらっしゃいます。そこで、千葉市中央図書館では、障害者サービスコーナーを設置し、点字図書やカセット・DAISY (デイジー) といった録音図書を所蔵するほか、対面音訳サービスを行っています。また、視覚障害等により来館が困難な方がご利用いただける無料の郵送による貸出しサービスもあり、「いつでも」「だれでも」「どこでも」読書を楽しんでいただけるよう、サービスの拡大や充実に努めています。

さらに、この度、著作権法が改正され、「障害者のための著作物利用に係る権利制限の範囲の拡大」が行われました。これにより、視覚障害者の方に限らず、「高齢による視力減退」や、「学習障害」などで本を読むことが困難な方も、録音図書をご利用いただけるようになります。

本を読むことにご不便を感じている方は、ぜひこの機会に障害者サービスコーナーでご相談ください。
なお、録音図書をご利用いただくには、利用者区分の変更等が必要になります。詳しくは、職員にお問い合わせください。

◆録音図書をご利用いただける方

- ・視覚障害
- ・聴覚障害
- ・肢体障害
- ・精神障害
- ・知的障害
- ・内部障害
- ・発達障害
- ・学習障害
- ・いわゆる「寝たきり」の状態
- ・一過性の障害
- ・入院患者
- ・その他図書館が認めた障害

出典 「図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作権物の複製等に関するガイドライン」
(社) 日本図書館協会

DAISY図書をご利用ですか?

皆さんは、DAISY (デイジー) 図書という言葉を知っていますか?

DAISY図書とは、内容がCDにデジタル録音された音声による図書資料のことをいい、専用の再生機やパソコンなどで再生します。千葉市中央図書館でも数多く所蔵しています。

- ・また、以下の特徴があります。
- ・目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができる。



〈DAISY図書と再生機〉

・カセットテープに比べ、音質が劣化しにくい。
・音声圧縮技術により1枚のCDに50時間以上もの録音が可能。
このDAISY図書を使えば、本を読むことが困難な方でも、より便利に音声により、「耳」で読書を楽しむことができます。また、テキストや画像などが入ったマルチメディアDAISY図書というものもあり、利用される方に合った効果的な読書を行うことが可能です。これらは千葉市中央図書館での提供も始まっています。
著作権法の改正により、ご利用いただける方の範囲が拡大されたこの機会に、DAISY図書を利用してみてはいかがでしょうか。

レファレンス事例

28

江戸時代の代官について知りたい

テレビの時代劇や時代小説にはよく「代官」が登場します。さて、この「代官」とはどんな役割や権限をもっていたのでしょうか。

まずは辞典を用いて概要を調べます。『国史大辞典 第四卷』(吉川弘文館 1984)の「郡代・代官」の項目(1040~1044ページ)を見ると、江戸時代の代官とは、「幕府・諸藩の支配機構における直轄領(天領)」の「農民支配を担当した地方官の職名」とあります。郡代は「代官よりも支配地域が大きく枢要の地を支配し格式においては代官の上位」とされましたが、「職務内容はほぼ同じ」であり、両者とも、年貢収納を中心とする民政一般と、犯罪人の逮捕や吟味といった警察・裁判に関するものが主要な任務でした。直轄領はおおむね「五万石から十万石」の地域とされますが、必ずしも確定していたわけではないそうです。定員も定められておらず、江戸中・後期には四十人程度の代官がいました。配置については、「江戸時代の郡代・代官配置図 天保十年」と「天保十年郡代・代官所別構成表」が図示されています。

そのほか、『江戸幕府代官履歴辞典』(岩田書院 2001)には1183名の代官が収録されており、それぞれの名前、赴任地のほか、前歴や後職などが記載されています。『武家編年事典』(青蛙房 2008)の巻末には慶応三年時点の「幕府代官表」が掲載されています(688~694ページ)。

事典以外の資料もみてみると、『大江戸復元図鑑 武士編』(遊子館 2004)の248~249ページには、郡代・代官の解説に加え、代官赴任の行列の様子と持ち物が図示されています。『絵図でさぐる武士の生活 1 職制・儀礼』(柏書房 1982)には、天保10年、慶応3年の「遠国奉行・郡代・代官配置図」のほか、葦山代官所の見取図も掲載されています(104~106ページ)。また、『代官の日常生活』(講談社 2004)では、「江戸の中間管理職」である代官の姿が詳細に描かれています。

蔵書点検とは？

蔵書点検とは、利用者が必要とする資料を適切に提供できるように、蔵書している資料を一冊一冊点検する作業です。データでは所蔵になつていない資料が、実際にあるかどうかを確認していきます。点検前の作業として、書棚の整理を実施し、資料を正しく配架(請求記号順、著者名順等で資料を決められた場所に並べること)します。他の本に挟まっていたり、本の後ろに入り込んでいたりする資料がないかよく確認して行います。

次に、職員がPOT(ポータブルターミナル)という携帯用の端末機を使って、図書や雑誌一冊一冊のバーコードを「ピツ」という読み取り音を確認しながら読み取りします。読み込んだデータは所蔵データと照合し、なくなった資料や、誤って配架された資料がないかを確認していきます。その際、書棚等をきれいにする作業も行っていきます。

また、蔵書点検の作業と並行して、点検中に見つかった破損資料の修理や、配架場所を変更する作業(地下等にある書庫への移動など)もしています。

中央図書館では、平成23年11月10日~17日を特別整理期間として休館し、蔵書点検を実施しましたが、地区図書館・分館・公民館図書室も順次蔵書点検を実施していく予定です(下表のとおり)。毎年、期間中は利用者のみなさまにご不便をおかけしますが、図書館のよりよいサービスに必要な作業ですので、ご理解をお願いします。

(平成23年度 蔵書点検期間)

実施時期	休館日数	実施図書館・図書室
平成24年 1月17日(火) ~20日(金)	4日間	公民館図書室 (花見川区・緑区・美浜区)
2月14日(火) ~17日(金)	4日間	公民館図書室 (中央区・稲毛区・若葉区)
2月16日(木) ~23日(木)	7日間 (月曜日を 除く)	花見川図書館・緑区図書館 美浜図書館・白旗分館 西都賀分館・泉分館 土気図書室
3月8日(木) ~15日(木)	7日間 (月曜日を 除く)	みやこ図書館・稲毛図書館 若葉図書館・花見川団地分館 あすみが丘分館・打瀬分館

返却期限を守りましょう!

図書館の資料は、市民の皆さんの大切な財産です。次に利用する方のため、返却期限を守ってご利用ください。